

遊離前外側大腿皮弁移植における静脈吻合数が皮弁合併症に与える影響に関する研究

研究対象： 2004年1月から2013年12月までに、国立がん研究センター（以下、当センター）中央病院および東病院で遊離前外側大腿皮弁を用いて治療された方々の診療録を対象とし、遊離前外側大腿皮弁移植における静脈吻合数が皮弁合併症に与える影響を評価するための情報収集を試みます。

研究の意義・目的： 遊離皮弁移植術において、静脈吻合が1本の場合に比べ静脈吻合が2本の場合のほうが静脈血栓のリスクが減少することが報告されていますが、遊離前外側大腿皮弁のみを対象として検討した報告はほとんどありません。本研究は、遊離前外側大腿皮弁において、静脈吻合1本と2本で静脈血栓や皮弁壊死のリスクに違いがあるかどうかを検討し、明らかにすることを目的とします。将来的には、この研究の結果がより効率的な治療法の開発につながると考えております。

方法： 本研究は、2004年1月から2013年12月までに当センター中央病院および東病院で遊離前外側大腿皮弁を用いて治療された方々の診療録から、性別、年齢、疾患、既往歴、手術方法、術後合併症などについて情報を収集します。収集した情報を通じて、遊離前外側大腿皮弁移植における静脈吻合数が皮弁合併症に与える影響について検証します。

個人情報保護に関する配慮： 閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先までご連絡ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 形成外科 東野琢也

TEL 04-7133-1111/FAX 04-7131-9960